

ごあいさつ



山武市長 松下 浩明

松尾小学校旧校舎は、昭和46年に建設され経年により施設が老朽化する中、子どもたちを取り巻く社会状況は、多様に変化し地域社会の学校への期待、学校の理想像など大きく変わってきており、その変化に対応した教育内容、教育環境の整備拡充が求められ、早期の改築が望まれていました。

新校舎建設に当たっては、様々な観点から検討し、1つ目は、子どもたち、保護者がこの学校に行きたい、通わせたいと思える学校。2つ目は、教職員がこの学校で教えたい、働きたいと思える学校。この2点をコンセプトに計画を進めてきました。

この度完成した新校舎は、各教室のエアコン完備、トイレ洋式化をはじめ、新学習指導要領に沿った今日的な学校とし、その特徴として階段教室、図書室、コンピューター室、視聴覚室、多目的室を一堂にまとめ、この大空間を「学びのステーション」と称し、ICT機器を活用しやすい、児童が伸び伸び学び情報活用能力の向上が期待できる学習環境となっております。

本計画の遂行にあたりまして、より良い学校環境整備に深いご理解と格別なご配慮を賜りました市議会をはじめ関係各位、事業実施にあたりご支援、ご指導いただきました国・県等の関係機関の皆様、さらには高度な技術力に支えられ、安全な施工にご尽力いただいた設計監理・施工業者の皆様へ深甚なる敬意と心から感謝申しあげご挨拶とさせていただきます。

令和5年4月吉日

建物概要

所在地	千葉県山武市松尾町猿尾383番地
敷地面積	19,124.98㎡
構造・規模	RC造（一部S造）地上3階
主要用途	小学校（校舎棟）
建築面積	1,956.14㎡
延床面積	4,824.09㎡
建物高さ	15.105m
付属施設	①屋外倉庫：木造、地上1階、91.22㎡ ②バス停：S造、地上1階、30.00㎡ ③渡り廊下：S造、地上1階、73.75㎡ ④ポンベ庫：S造、地上1階、2.68㎡ ⑤受水槽ポンプ室：S造、地上1階、8.82㎡ ⑥倉庫1：S造、地上1階、13.48㎡ ⑦倉庫2：S造、地上1階、8.02㎡ ⑧備蓄倉庫1（既存）：S造、地上1階、9.60㎡ ⑨備蓄倉庫1（既存）：S造、地上1階、9.60㎡ ⑩屋内運動場（既存）：RC造、地上2階、982㎡

工事概要

着工	令和2年7月29日
竣工	令和5年3月31日
設計・監理	株式会社豊建築事務所
改築工事	古谷建設株式会社

事業費（令和5年3月31日現在）

全体	3,112,781千円
内訳	
改築工事（旧校舎・こども園解体含）	2,508,000千円
外構工事	140,777千円
設計・監理	159,565千円
仮設校舎リース	198,000千円
その他付帯工事	106,439千円

財源（令和5年3月31日現在）

全体	3,112,781千円
内訳	
合併特例債	1,343,700千円
過疎対策事業債	1,162,200千円
教育整備等騒音防止対策事業助成金	228,080千円
教育施設等整備基金	352,904千円
一般財源	25,897千円

新校舎完成までの経過

4: 4	53 6 3
4 6	
4 32 4	
4 32 33	
52 4 38	実
52 6 3	
52 9	事 式 市
53 3 53	
53 6 3	
3 8 6	
3 33 34	中 式 実
3 34 3	
4 3 39	
4 3 46	
4 3	
4 4 39	
4 5 53	
4 7 44	
4 9 36	
4 9 4:	
4 3	4 4 3 6 : 53
4 32	4 32 3 5 4 7
5 4 34	
6 9 33	
6 : 48	
6 3	
6	6 3 6 32 53
7 5 53	

6つの設計方針を基に、「子ども達、保護者がこの学校に行きたい、通わせたいと思える学校」「教職員がこの学校で教えたい、働きたいと思える学校」を目指しました。

① 高機能・多機能で多様な学びを創る学校

- ・校舎の中心に、多様な学びに活用できる「学びステーション」を整備
- ・すべての教室に、黒板の代わりに電子黒板を設置し、ICT環境を整備

② 教職員の働く環境を向上できる学校

- ・気軽にコミュニケーションが図れる「教師ラウンジ」を整備
- ・管理が行き届きやすい建物構成とし、見通しがよい廊下を整備

③ 地域の誇り、愛着の持たれる学校

- ・新しい校舎のメインアプローチを、みんなの記憶に残る学校として整備
- ・既存のヤマモモの木を正門近くに移植し、ヤマモモ広場を整備
- ・周辺の町並みと調和した地域のシンボルとなる景観に配慮

④ 安心・安全、ユニバーサルデザインに配慮した学校

- ・明確なセキュリティラインを設け、「守る範囲」を整備
- ・わかりやすいサインにより、ユニバーサルデザインに配慮

⑤ 心地よい環境で学べる学校

- ・教室の日照や採光に配慮し、静謐な学習環境を整備
- ・内装の木質化、明るく楽しいトイレ等、あたたかく、潤いのある環境

⑥ 維持管理、長寿命化を念頭に置いた学校

- ・シンプルで機能的な平面計画や外観でデザインで、コストを抑制
- ・ライフサイクルコスト削減を目指し、各種仕上げや機器を選定

正門前に移植された「ヤマモモの木」が子ども達を見守ります



階段教室は「やまももホール」と名づけられました